

2026年6月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月14日
東・名

上場会社名 KeePer技研株式会社 上場取引所
コード番号 6036 URL <http://keepergiken.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役会長兼CEO（氏名）谷 好通
問合せ先責任者（役職名）専務取締役兼Co-COO（氏名）鈴置 力親（TEL）0562-45-5777
定時株主総会開催予定日 2026年9月28日 配当支払開始予定日 2026年9月9日
有価証券報告書提出予定日 2026年9月25日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期の業績（2025年7月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年6月期	25,959	12.4	6,914	△2.6	6,930	△2.8	9,830	101.1
2025年6月期	23,093	12.2	7,098	16.3	7,131	17.4	4,888	10.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2026年6月期	360.20	—	45.6	23.8	26.6
2025年6月期	179.14	—	30.1	32.3	30.7

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年6月期	33,521	25,090	74.8	919.37
2025年6月期	24,826	18,042	72.7	661.10

（参考）自己資本 2026年6月期 25,090百万円 2025年6月期 18,042百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年6月期	4,392	8,946	△3,235	14,277
2025年6月期	5,855	△6,796	△27	4,172

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2025年6月期	—	0.00	—	60.00	60.00	1,637	33.5	10.1
2026年6月期	—	0.00	40.00	60.00	100.00	2,729	27.8	12.7
2027年6月期（予想）	—	0.00	—	100.00	100.00		43.9	

3. 2027年6月期の業績予想（2026年7月1日～2027年6月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	14,900	15.2	4,866	32.1	4,866	32.1	3,485	△51.8	127.70
通期	29,380	13.2	9,012	30.3	9,012	30.0	6,222	△36.7	227.98

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 有 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数 |

2026年6月期	28,280,840 株	2025年6月期	28,280,840 株
2026年6月期	989,726 株	2025年6月期	989,619 株
2026年6月期	27,291,154 株	2025年6月期	27,291,395 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において、当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予測数値より大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P6「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	6
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	6
(4) 今後の見通し	7
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	10
3. 財務諸表及び主な注記	11
(1) 貸借対照表	11
(2) 損益計算書	13
(3) 株主資本等変動計算書	15
(4) キャッシュ・フロー計算書	17
(5) 財務諸表に関する注記事項	18
(継続企業の前提に関する注記)	18
(会計上の見積りの変更)	18
(損益計算書関係)	18
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	18
(セグメント情報等)	18
(持分法損益等)	22
(1株当たり情報)	22
(重要な後発事象)	22

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度(2025年7月1日から2026年6月30日)における我が国の経済は、雇用・所得環境に緩やかな改善の動きが見られたものの、エネルギー価格や食料品を中心とした物価上昇の長期化により、実質賃金の伸び悩みが続き、個人消費は依然として慎重な状況で推移しました。また、中東情勢の緊張の高まりによる原油価格の高止まりなど、エネルギーコストの上昇が企業活動および家計に影響を及ぼすなど、先行き不透明な状況が続きました。

このような環境の中、当社ではユーザーに提供するKeePerコーティングの品質の維持・向上を、これまで以上に実現していくことが、当面の業績向上のみならず、将来の発展を見据えたKeePerブランドの確立において最も重要であると考えております。

2026年6月期 実績

当事業年度(2025年7月1日から2026年6月30日)におきましては、売上高 259億59百万円(前年同期比12.4%増加)、営業利益69億14百万円(同2.6%減少)、経常利益69億30百万円(同2.8%減少)と、増収減益となりました。

ただし、当事業年度は投資有価証券売却による特別利益が67億62百万円計上されているため、当該利益を元手とした成長に向けた先行投資(10億93百万円)を実行しており、その成長投資費用がなかった場合の営業利益は80億7百万円(同12.8%増)、経常利益は80億24百万円(同12.5%増)となります。

事業分野別の状況は、次のとおりです。

【キーパーLABO運営事業】

キーパーLABO運営事業の売上は140億28百万円(前年同期比10.5%増加)、営業利益は21億70百万円(同20.2%減少)となりました。ただし、特別利益計上に伴う先行投資分が10億93百万円含まれており、それを除いた営業利益は32億63百万円(同20.1%増加)となります。

年度の最終となる第4四半期は、5月以降に市場環境に改善の動きがみられました。厳しい円安の局面下で昨年来続いていた国内の自動車メーカーが国内への新車の供給を絞って、海外への輸出に回している傾向が解消され、また自動車税制改定に伴う「環境性能割」が廃止されたことで、ゴールデンウィーク前に新車の納車が急増しました。また、全国的に降雨量も少なく、花粉・黄砂による汚れがまとわりついた車の洗車の需要が非常に高まったことに加え、6月からのサービス価格の改訂前にコーティングの再施工やメンテナンスの時期を前倒しで実施されたお客様も多かったことから、前年同月150%に迫る実績となり、全店で活況となりました。

なお、6月からのサービス価格の値上げについては、5月中にご予約いただければ値上げ前の価格で施工させていただく旨のご案内がお客様に行き届き、6月に入ってから予約も多くいただきました。6月は台風の上陸など天候不順の影響を大きく受けたものの、2026年6月期の最終四半期を堅調に締めくくることができました。

2026年6月期を四半期ごとに振り返ると、第1四半期は今と同じ猛暑の夏からスタートしました。暑さ対策に約1億280百万円を投じ、残念ながら1名の体調不良者は発生してしまいましたが、全体としては対策の効果がしっかりと表れ、異例の猛暑下を乗り切ることができたものと考えております。

第2四半期は、年末前に『DIA II KeePer』の提供を開始しました。DIA II KeePerは施工されたお客様の満足度が高く、その評価がSNSなどを通じて広がることで、お客様がお客様を呼ぶKeePerの新たな主力商品として成長しております。

第3四半期は前述の通り、国内での新車不足に加えて、中東情勢の緊迫化もあり、事業環境が不透明な状況で推移しましたが、その間、モビリティベース化の一環として、『ウィンドウの遮熱フィルム』、『中古車フリマ:カババ』、『ウィンドウリペア』、『ペイントリペア』の取組み開始しました。この先も中部エリアでの『タイヤ・ホイールの販売事業』、全店での『タイヤのエアチェック』、『ウォッシュ液として純水の無料補充』など、お客様の利便性や満足度向上につながるサービスをLABOに付加してまいります。

そして、2026年6月期の最大のトピックスは、キーパーLABOの新規出店数は全28店でしたが、内訳で直営が13店に対して、FCが15店と、初めてFCの出店数が直営の出店数を上回ったこととなります。この傾向と勢いは、来期以降さらに

加速するものと見込んでおります。

(各KeePerコーティングの施工台数状況)

2025年7月～2026年6月までの1年間において、高付加価値のEXキーパー/TREXキーパーの施工台数は、15,757台（前年比3.8%増加）と国内での新車の供給不足の中、堅調に伸びています。新たにDIA II KeePerが軸となったダイヤモンドキーパーシリーズの施工台数は、65,416台（同12.4%増加）と最も高い伸び率を示しております。1年に1回の施工を繰り返すことで人気のあるフレッシュキーパー/クリスタルキーパーは、104,759台（同4.7%増加）となりました。また、各KeePerコーティングメンテナンスの施工台数は前年比7.2%増加となり、車齢が年々上昇し続けていることもあり、今乗っている車をキレイに長く乗りたいという需要が引き続き高まっております。

その結果、2026年6月期における総来店台数は906,083台（前年比12.5%増加）となり、多くのお客様にサービスを提供することができました。平均単価は、ご来店いただいたお客様を可能な限りお断りすることなく受け入れる運営を推進した結果、単価の低い洗車サービスの構成比が上昇したことから、16,863円（同0.5%減少）となりました。

(新店の開発状況)

店舗名	所在地	オープン日	LABO累計店舗数 ()内：直営店
盛岡店 (FC)	岩手県盛岡市	2025年7月2日	157
青森店 (FC)	青森県青森市	2025年7月4日	158
宮の沢店	北海道札幌市西区	2025年7月30日	159(138)
国分寺店 (FC)	東京都国分寺市	2025年9月25日	160
長野 中御所店	長野県長野市	2025年10月1日	161(139)
大和店 (FC)	神奈川県大和市	2025年10月3日	162
札幌インター店 (FC)	北海道札幌市白石区	2025年11月21日	163
栗東店 (FC)	滋賀県栗東市	2025年12月13日	164
釧路店 (FC)	北海道釧路市	2025年12月23日	165
つくば店 (FC)	茨城県つくば市	2026年1月10日	166
高崎店	群馬県高崎市	2026年1月28日	167(140)
浜松店 (FC)	静岡県浜松市中央区	2026年2月27日	168
周南店	山口県下松市	2026年2月28日	169(141)
仙台錦ヶ丘店 (FC)	宮城県仙台市青葉区	2026年3月19日	170
枚方長尾店 (FC)	大阪府枚方市	2026年3月20日	171
岩出店	和歌山県岩出市	2026年3月28日	172(142)
鹿児島店 (FC)	鹿児島県鹿児島市	2026年4月4日	173
福岡南店 (FC)	福岡県春日市	2026年4月11日	174
稲沢店	愛知県稲沢市	2026年4月11日	175(143)
太田川店	愛知県東海市	2026年4月11日	176(144)
越谷レイクタウン店 (FC)	埼玉県越谷市	2026年5月20日	177
甲府店	山梨県甲府市	2026年5月27日	178(145)
八尾南店	大阪府八尾市	2026年6月17日	179(146)
東大阪店	大阪府東大阪市	2026年6月17日	180(147)
新鎌ヶ谷店	千葉県鎌ヶ谷市	2026年6月24日	181(148)
京都上桂店	京都府京都市西京区	2026年6月26日	182(149)
高松屋島店	香川県高松市	2026年6月26日	183(150)
廿日市店 (FC)	広島県廿日市市	2026年6月27日	184

以上、2026年6月期は直営13店舗、FC15店舗、合計28店舗の新規出店（エリア初出店は4店舗：盛岡店(岩手県)、周南店(山口県)、岩出店(和歌山県)、甲府店(山梨県)）があり、キーパーLABOは184店舗体制となりました。

※LABOがない県は、徳島県、高知県、鳥取県、島根県、佐賀県、大分県、宮崎県、沖縄県となっております。

【キーパー製品等関連事業】

キーパー製品等関連事業の売上高は119億31百万円（前年同期比14.7%増加）、セグメント利益は47億44百万円（同8.2%増加）と増収増益になりました。

	2025年6月期 通期（百万円）	構成比 （%）	2026年6月期 通期（百万円）	前年比 （%）	構成比 （%）
製品等関連	10,400	100.0	11,931	114.7	100.0
アフターマーケット	6,464	62.2	7,015	108.5	58.8
新車	3,156	30.3	4,085	129.4	34.2

	2025年6月期 通期（百万円）	構成比 （%）	2026年6月期 通期（百万円）	前年比 （%）	構成比 （%）
海外	141	1.4	84	59.6	0.7
車以外	639	6.1	747	116.9	6.3

アフターマーケット

ガソリンスタンドを中心としたアフターマーケットは、前年同期比8.5%増加となりました。期首である2025年7月以降は、災害級の猛暑による来店客数の減少や、軽油価格カルテル問題などの影響を受け、厳しい市場環境が続きました。しかし、2025年11月に発売した新商品「DIAⅡキーパー」の投入を契機として市場環境は改善し、キーパープロショップ店舗ではDIAⅡキーパーの需要が大きく拡大しました。その後もDIAⅡキーパーは順調に定着し、品質をご評価いただいたお客様による口コミの広がりに加え、品質を実感した技術者による積極的な提案によって施工台数は増加基調で推移しております。

新車マーケット

新車ディーラーを中心とした新車マーケットは、前年同期比29.4%増となり、売上構成比は前期の30.3%から34.2%へ拡大しました。

EXキーパーを純正採用しているスバル、ボルボ、メルセデス・ベンツを中心に施工台数が大きく伸長しております。

「新車でも施工後の違いが実感できる」「納車後も美しい状態が長く続く」といった施工後の仕上がりや美観の持続性に対する評価がディーラー内でも広がり、営業スタッフによる提案活動も活発化しております。

また、2026年4月の自動車税制改定に伴う環境性能割の廃止を見据え、2～3月納車予定車両の一部が4月以降へ変更される動きが見られ、一時的に新車納車台数が減少しました。しかし、5月以降は納車が本格化し、5、6月と期末前の売上を大きく押し上げました。

さらなる市場拡大を目的として、2026年2月より新車ディーラー専売商品「LXキーパー」の販売を開始しました。Mサイズ（プリウスクラス）で約10万円の価格帯とし、新車購入時に選択されやすい商品として展開しております。今後は、新車マーケットにおける主力商品の一つとして成長を見込んでおります。

「車以外」のサービスは前年同期比16.9%増となりました。

上期は、販売体制の構築に時間を要したことから、店頭での販売数量が伸び悩み、前年を下回る実績となりました。しかし、2026年1月以降に体制を大きく見直し、立て直しを図りました。その結果、現場との連携や法人顧客との直接的な取引が進展し、実績においても前年を上回る水準まで回復しました。

ホテル向け「お風呂のコーティングサービス」の導入拡大に加え、メガネ専用KeePerコーティング「Glasses KeePer（グラッシーズキーパー）」が順調に販売を拡大しております。

海外展開

海外売上高は前年同期比40.4%減となりました。これは海外向け製品の出荷時期が翌期へずれ込んだことが主な要因であり、現地店舗の販売実績は前年同期比約10%増と堅調に推移しております。

一方で、海外事業全体の規模は依然として小さく、今後の成長に向けては国内同様にKeePer LABO店舗網の拡大が重要な課題であると認識しております。

以上の結果、キーパー製品等関連事業の売上高は119億31百万円（前年同期比14.7%増）、セグメント利益は47億44百万円（同8.2%増）となりました。

売上高が14.7%増加した一方で、セグメント利益の伸び率が8.2%増にとどまった主な要因は、2025年11月に発売した「DIAⅡキーパー」の認知拡大を目的としたテレビCMなど、将来の成長に向けた積極的な広告宣伝投資を実施したことによるものです。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における総資産は、前事業年度末に比べ86億94百万円増加し、335億21百万円となりました。これは主として、現金及び預金が101億4百万円増加し、建物が16億23百万円増加、投資有価証券が42億96百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

当事業年度末における負債合計は、前事業年度末に比べ16億46百万円増加し、84億30百万円となりました。これは主として、1年内返済予定の長期借入金が32百万円減少し、未払法人税等が13億84百万円増加、長期借入金が4億74百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当事業年度末における純資産は、前事業年度末に比べ70億48百万円増加し、250億90百万円となりました。これは主として、利益剰余金が当期純利益により98億30百万円増加した一方で、配当により27億29百万円減少したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前事業年度末に比べ101億4百万円増加し142億77百万円(前事業年度末比242.2%増加)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は43億92百万円(前事業年度比14億62百万円減少)となりました。非資金項目の主な内訳は税引前当期純利益137億11百万円、減価償却費7億18百万円であり、支出の主な内訳は法人税等の支払額26億42百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は89億46百万円(前事業年度比157億42百万円増加)となりました。収入の主な内訳は、投資有価証券の売却による収入110億63百万円、支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出16億82百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は32億35百万円(前事業年度比32億8百万円減少)となりました。支出の主な内訳は配当金の支払額27億29百万円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期	2025年6月期	2026年6月期
自己資本比率	67.8	73.9	75.0	72.7	74.8
時価ベースの自己資本比率	812.0	882.8	580.2	390.2	221.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.2	0.0	0.0	0.25	0.22
インタレスト・カバレッジ・レシオ	821.2	2,750.7	2,938.33	651.42	245.86

自己資本比率：自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債 / キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー / 利払い

(注) 1 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

2 キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

3 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

2027年6月期 見通し

新事業年度（2026年7月1日から2027年6月30日）の見通しは、売上高293億80百万円（前事業年度比13.2%増加）、営業利益90億12百万円（同30.3%増加）、経常利益90億12百万円（同30.0%増加）、当期純利益は62億22百万円（同36.7%減少）の増収減益を見込んでおります。売上高、営業利益及び経常利益は増収増益を見込む一方、前事業年度に計上した投資有価証券売却益の反動により、当期純利益は減益となる見通しです。

事業分野別の見通しは、次のとおりです。

【キーパーラボ運営事業】

2027年6月期の新規出店は、直営20店、FC30店の合計50店舗を予定しており、234店舗体制を目指します。

※2026年7月末時点で、33店舗の出店の目処が立っております。

（今後の新規出店予定）

現在、すでに具体的に予定されている新規出店は下記のとおりです。

店舗名（仮称）	所在地	オープン予定日	LABO累計店舗数 （）内：直営店
横浜鶴ヶ峰店(FC)	神奈川県横浜市旭区	2026年7月29日	185
高岳店	愛知県名古屋市中区	2026年8月7日	186(151)
函館店	北海道函館市	2026年8月14日	187(152)
下高井戸店(FC)	東京都杉並区	2026年8月27日	188
岡山福成店(FC)	岡山県岡山市南区	2026年9月	189
苫小牧店(FC)	北海道苫小牧市	2026年9月	190
伊勢店	三重県伊勢市	2026年10月	191(153)
堀田店	愛知県名古屋市中区	2026年10月	192(154)
仙台一番町店(FC)	宮城県仙台市青葉区	2026年11月	193
江戸川北店(FC)	東京都江戸川区	2026年11月	194
平子橋店	愛知県名古屋市中区	2026年11月	195(155)
岡崎針崎店	愛知県岡崎市	2026年12月	196(156)
銀閣寺店(FC)	京都府京都市左京区	2026年12月	197
東金沢店(FC)	石川県金沢市	2026年12月	198
松江店(FC)	島根県松江市 ※島根県初	2026年12月	199
鳥取店(FC)	鳥取県鳥取市 ※鳥取県初	2027年2月	200
倉敷店(FC)	岡山県倉敷市	2027年2月	201
東松山店(FC)	埼玉県東松山市	2027年2月	202
佐久平店	長野県佐久市	2027年2月	203(157)
木更津店	千葉県木更津市	2027年3月	204(158)
旭川店(FC)	北海道旭川市	2027年3月	205
米子店(FC)	鳥取県米子市	2027年3月	206
加瀬店	神奈川県川崎市幸区	2027年4月	207(159)
宿河原店	神奈川県川崎市多摩区	2027年4月	208(160)
多治見店(FC)	岐阜県多治見市	2027年4月	209
佐世保店(FC)	長崎県佐世保市	2027年4月	210
京都洛北店(FC)	京都府京都市左京区	2027年4月	211

店舗名（仮称）	所在地	オープン予定日	LABO累計店舗数 （）内：直営店
犬山店(FC)	愛知県犬山市	2027年4月	212
和歌の浦店(FC)	和歌山県和歌山市	2027年4月	213
太田店(FC)	群馬県太田市	2027年5月	214
イオン津桜橋店	三重県津市	2027年5月	215(161)
大倉山店	神奈川県横浜市港北区	2027年5月	216(162)
前橋吉岡店	群馬県前橋市	2027年6月	217(163)

（既存店の改装予定）

店舗名	所在地	ブース数の増設	その他改修
東海店	愛知県		全面改装
世田谷店	東京都	8→20台	モビリティベース化

また、今後の暑さ対策とお客様の満足度向上を目的として、21店について屋内での作業環境への改装を計画をしております。

※1店舗あたり：約20,000千円を予定しております。

【キーパー製品等関連事業】

KeePerコーティングのニーズ拡大に合わせ、導入店舗の拡大や新規開拓を積極的に進めてまいります。

（アフターマーケット）

ガソリンスタンド全体では、将来的な燃料油販売数量の減少を背景に、店舗数の減少が避けられない不安材料を抱えております。

一方、キーパープロショップを経営するガソリンスタンドにおいては、「車をキレイに維持したい」という需要を追い風として、1店舗あたりの売上は増加基調にあります。さらに、すでに多くの技術者を擁するガソリンスタンド運営会社において、キーパーLABOへの転換を進める動きがみられます。

当社は技術研修や技術コンテストなどを通じて、技術力の向上と現場スタッフのモチベーション向上を引き続き支援してまいります。

（新車マーケット）

今後の主軸である新車マーケットにおいては、純正採用されているスバル、トヨタ、ホンダ、三菱、VOLVO、スズキ、メルセデス・ベンツの新車販売店を中心に、新車販売時におけるKeePerコーティングの付帯率向上に取り組んでまいります。また、他の新車メーカーに対しても純正採用拡大に向け、積極的に展開してまいります。

さらに、新車ディーラーにおいては、少子化問題などを背景とした将来の新車販売台数の減少を見据えて、中古車や既販車向けのサービスに注力する企業・店舗が増加しております。

（車以外のサービス）

車以外のサービスについては、自動車分野で培ってきたKeePerコーティング技術をさまざまな分野へ展開することで、新たな事業の柱へと成長させてまいります。

既にこのビジネスにおいて収益事業として成長し始めている家電業界、モバイル業界、ハウスクリーニング業界、眼鏡業界については、既存取引店舗における販売拡大に加え、新たな企業や店舗への導入を進め、さらなる事業拡大を図ってまいります。

また、昨年より営業活動を進めているスポーツ用品業界、鉄道関連、マリネ業界に加え、今後は事業化の可能性を見極めながら対象業界を選定し、業界を絞った営業活動を推進してまいります。

(海外事業)

海外事業についても、日本国内で培ってきたKeePerのブランド力、技術力、商品力、店舗運営のノウハウを活かし、KeePer LABO店舗網の拡大を軸として、海外におけるKeePerブランドの拡大を図ってまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準に基づき財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用に関しましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当事業年度 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,172,742	14,277,237
受取手形	48,934	-
電子記録債権	98,999	198,929
売掛金	1,766,891	2,216,862
商品	1,179,211	1,390,428
貯蔵品	118,784	95,289
前渡金	18,424	90,118
前払費用	250,540	302,573
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	5,538	17,841
その他	75,458	71,913
貸倒引当金	△199	△222
流動資産合計	7,735,326	18,660,970
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,889,207	8,512,472
構築物（純額）	391,439	421,216
機械及び装置（純額）	37,690	29,508
車両運搬具（純額）	40,934	44,018
工具、器具及び備品（純額）	258,187	277,014
土地	2,016,836	2,016,836
リース資産（純額）	301,283	354,339
建設仮勘定	146,714	83,631
有形固定資産合計	10,082,293	11,739,036
無形固定資産		
ソフトウェア	98,183	99,413
その他	57,490	45,041
無形固定資産合計	155,674	144,454
投資その他の資産		
投資有価証券	4,354,132	57,178
関係会社株式	71,339	281,339
関係会社長期貸付金	871,666	841,306
長期前払費用	45,542	65,994
敷金及び保証金	690,392	750,477
建設協力金	301,283	354,339
保険積立金	11,460	11,460
繰延税金資産	507,682	614,794
その他	17	10
貸倒引当金	△7	-
投資その他の資産合計	6,853,510	2,976,899
固定資産合計	17,091,478	14,860,390
資産合計	24,826,804	33,521,361

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年6月30日)	当事業年度 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	613,910	640,730
1年内返済予定の長期借入金	506,316	474,316
未払金	610,277	604,395
未払法人税等	1,571,185	2,955,422
未払費用	461,473	441,630
リース債務	25,379	28,817
資産除去債務	-	21,645
賞与引当金	73,411	83,931
契約負債	258,592	163,904
その他	183,268	246,404
流動負債合計	4,303,815	5,661,198
固定負債		
長期借入金	943,105	468,789
退職給付引当金	558,236	639,356
役員退職慰労引当金	294,257	303,228
リース債務	275,903	325,521
資産除去債務	397,953	1,017,296
その他	11,387	15,344
固定負債合計	2,480,843	2,769,535
負債合計	6,784,658	8,430,733
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,347,557	1,347,557
資本剰余金		
その他資本剰余金	1,049,019	1,049,019
資本剰余金合計	1,049,019	1,049,019
利益剰余金		
利益準備金	141,390	336,889
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	17,614,330	24,519,999
利益剰余金合計	17,755,720	24,856,888
自己株式	△2,165,002	△2,165,379
株主資本合計	17,987,294	25,088,086
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	54,851	2,541
評価・換算差額等合計	54,851	2,541
純資産合計	18,042,145	25,090,627
負債純資産合計	24,826,804	33,521,361

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当事業年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
売上高		
商品売上高	10,400,737	11,931,978
サービス売上高	12,692,579	14,028,003
売上高合計	23,093,316	25,959,981
売上原価		
商品期首棚卸高	1,120,808	1,179,211
当期商品仕入高	4,316,765	5,251,545
合計	5,437,573	6,430,757
商品期末棚卸高	1,177,832	1,390,428
商品売上原価	4,259,741	5,040,328
サービス売上原価	6,753,618	8,346,473
売上原価合計	11,013,360	13,386,801
売上総利益	12,079,956	12,573,180
販売費及び一般管理費		
役員報酬	261,640	173,605
給料及び手当	1,014,119	1,104,048
賞与	73,138	177,863
退職給付費用	18,307	25,816
賞与引当金繰入額	73,411	83,931
役員退職慰労引当金繰入額	14,461	8,971
法定福利費	386,507	428,973
福利厚生費	53,130	68,917
旅費及び交通費	468,194	517,830
通信費	64,218	58,253
減価償却費	140,726	227,461
賃借料	86,870	106,481
保険料	15,349	16,093
水道光熱費	19,172	19,858
消耗品費	307,844	394,488
租税公課	262,414	6,755
試験研究費	40,882	41,830
運賃及び荷造費	198,074	228,335
事務用品費	29,009	30,347
広告宣伝費	787,773	1,068,934
貸倒損失	9	227
支払手数料	301,526	347,126
貸倒引当金繰入額	47	46
車両費	57,315	55,941
業務委託費	205,100	273,665
リース料	42	42
その他	101,939	192,732
販売費及び一般管理費合計	4,981,229	5,658,582
営業利益	7,098,726	6,914,597

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当事業年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
営業外収益		
受取利息	5,289	21,982
受取配当金	58,419	63,776
為替差益	5,805	-
受取手数料	2,236	2,367
貸倒引当金戻入額	-	7
その他	16,532	18,353
営業外収益合計	88,283	106,486
営業外費用		
支払利息	8,988	17,729
為替差損	-	61,398
特別退職金	33,600	-
雑損失	12,438	11,325
営業外費用合計	55,026	90,453
経常利益	7,131,984	6,930,630
特別利益		
固定資産売却益	2,686	1,703
投資有価証券売却益	-	6,792,057
特別利益合計	2,686	6,793,761
特別損失		
固定資産除売却損	447	1,640
減損損失	-	11,718
特別損失合計	447	13,358
税引前当期純利益	7,134,223	13,711,034
法人税、住民税及び事業税	2,331,100	3,964,402
法人税等調整額	△85,734	△83,654
法人税等合計	2,245,366	3,880,747
当期純利益	4,888,857	9,830,286

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,347,557	-	1,049,019	1,049,019	4,931	14,226,522	14,231,454
当期変動額							
剰余金の配当					136,459	△1,501,049	△1,364,590
当期純利益						4,888,857	4,888,857
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	-	-	-	-	136,459	3,387,807	3,524,266
当期末残高	1,347,557	-	1,049,019	1,049,019	141,390	17,614,330	17,755,720

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△2,164,590	14,463,440	3,371	3,371	14,466,812
当期変動額					
剰余金の配当		△1,364,590			△1,364,590
当期純利益		4,888,857			4,888,857
自己株式の取得	△412	△412			△412
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			51,479	51,479	51,479
当期変動額合計	△412	3,523,853	51,479	51,479	3,575,333
当期末残高	△2,165,002	17,987,294	54,851	54,851	18,042,145

当事業年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

（単位：千円）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,347,557	-	1,049,019	1,049,019	141,390	17,614,330	17,755,720
当期変動額							
剰余金の配当					195,498	△2,924,616	△2,729,117
当期純利益						9,830,286	9,830,286
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）							
当期変動額合計	-	-	-	-	195,498	6,905,669	7,101,168
当期末残高	1,347,557	-	1,049,019	1,049,019	336,889	24,519,999	24,856,888

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△2,165,002	17,987,294	54,851	54,851	18,042,145
当期変動額					
剰余金の配当		△2,729,117			△2,729,117
当期純利益		9,830,286			9,830,286
自己株式の取得	△376	△376			△376
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）			△52,310	△52,310	△52,310
当期変動額合計	△376	7,100,791	△52,310	△52,310	7,048,481
当期末残高	△2,165,379	25,088,086	2,541	2,541	25,090,627

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当事業年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	7,134,223	13,711,034
減価償却費	557,878	718,946
減損損失	-	11,718
貸倒引当金の増減額(△は減少)	25	15
契約負債の増減額(△は減少)	△18,418	△94,688
退職給付引当金の増減額(△は減少)	64,443	81,119
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,013	8,971
受取利息及び受取配当金	△63,709	△85,758
為替差損益(△は益)	△4,319	△1,418
支払利息	8,988	17,729
固定資産除売却損益(△は益)	△2,239	△63
売上債権の増減額(△は増加)	△84,029	△500,966
棚卸資産の増減額(△は増加)	△53,208	△187,722
仕入債務の増減額(△は減少)	△115,571	26,820
前払費用の増減額(△は増加)	3,760	△52,032
未払金の増減額(△は減少)	△18,444	40,486
未払費用の増減額(△は減少)	106,413	△19,842
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△6,792,057
その他	70,085	84,862
小計	7,591,891	6,967,151
利息及び配当金の受取額	63,709	85,758
利息の支払額	△8,988	△17,729
法人税等の支払額	△1,791,529	△2,642,650
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,855,084	4,392,531
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社株式の取得による支出	△1,000	△210,000
有形固定資産の取得による支出	△1,980,347	△1,682,645
有形固定資産の売却による収入	3,860	1,831
無形固定資産の取得による支出	△49,168	△26,388
投資有価証券の取得による支出	△4,257,288	△49,999
投資有価証券の売却による収入	-	11,063,244
関係会社貸付けによる支出	△409,621	-
貸付金の回収による収入	18,861	18,057
敷金及び保証金の差入による支出	△92,318	△91,711
敷金及び保証金の回収による収入	1,631	31,627
建設協力金の支払による支出	△33,330	△96,556
その他	2,153	△11,106
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,796,566	8,946,351
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,500,000	-
長期借入金の返済による支出	△162,579	△506,316
自己株式の取得による支出	△412	△376
配当金の支払額	△1,364,590	△2,729,117
財務活動によるキャッシュ・フロー	△27,582	△3,235,810
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,356	1,422
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△964,709	10,104,494
現金及び現金同等物の期首残高	5,137,452	4,172,742
現金及び現金同等物の期末残高	4,172,742	14,277,237

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

当事業年度において、当社営業所及び店舗の賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、新たな情報を入手したことにより原状回復費用に関しての見積りの変更を行いました。

この見積りの変更による増加額を、変更前の資産除去債務残高へ546,004千円加算しております。

(損益計算書関係)

※1 減損損失

当事業年度において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

当社は原則として店舗ごとを資産グループとしております。下記の店舗について閉店が決定したため帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。

使用価値の見積りにおける主要な仮定は、事業計画に基づく将来キャッシュ・フローの見積りにおける売上の伸長率としております。

回収可能価額は使用価値により算定しておりますが、将来キャッシュフローがマイナスの場合、回収可能価額は備忘価額1円として測定しております。

地域	用途	種類	減損損失 (千円)
千葉県松戸市	キーパーラボ店舗	・建物 ・構築物 ・機械装置 ・工具器具備品	11,718

※減損損失の内訳

建物 10,754千円、構築物 357千円、機械装置 338千円、工具器具備品 267千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の分配の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社は販売先別にセグメントを位置付け、一般顧客向け、事業者向けに包括的な戦略を立案し事業活動を展開しております。

従って当社は販売先別のセグメントから構成されており「キーパー製品等関連事業」「キーパーLABO運営事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「キーパー製品等関連事業」は自動車のコーティング用ケミカル製品をはじめとした、道具機器類の開発・製造、販売を行っております。「キーパーLABO運営事業」は一般のカー・ユーザー向けに自動車のコーティングを中心とした「車の美装を提供する店舗」をコンセプトとして「キーパーLABO」店舗を運営しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び

手続に準拠した方法であります。

報告セグメントごとの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は、セグメント別の原価に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前事業年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表計上額
	キーパー製品等 関連事業	キーパーLABO 運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	585,585	—	585,585	—	585,585
仙台営業所	1,158,593	—	1,158,593	—	1,158,593
東京営業所	2,225,023	—	2,225,023	—	2,225,023
横浜営業所	955,963	—	955,963	—	955,963
名古屋営業所	2,166,397	—	2,166,397	—	2,166,397
大阪営業所	1,043,339	—	1,043,339	—	1,043,339
広島営業所	1,006,293	—	1,006,293	—	1,006,293
福岡営業所	1,259,541	—	1,259,541	—	1,259,541
東日本	—	6,385,251	6,385,251	—	6,385,251
西日本	—	6,307,328	6,307,328	—	6,307,328
顧客との契約から生 じる収益	10,400,737	12,692,579	23,093,316	—	23,093,316
外部顧客への売上高	10,400,737	12,692,579	23,093,316	—	23,093,316
セグメント間の内部 売上高又は振替高	528,899	—	528,899	△528,899	—
計	10,929,636	12,692,579	23,622,215	△528,899	23,093,316
セグメント利益	4,381,748	2,716,978	7,098,726	—	7,098,726
セグメント資産	3,913,043	10,693,841	14,606,884	10,219,918	24,826,804
その他の項目					
減価償却費	79,947	477,931	557,878	—	557,878
有形固定資産及び 無形固定資産の増加 額	30,275	3,744,822	3,775,097	153,414	3,928,512

(注1) セグメント間の内部売上高又は振替高は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業部に対するものです。

(注2) セグメント資産の調整額は報告セグメントに帰属しない全社資産であります。

(注3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社管理部門における取得額であります。

当事業年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表計上額
	キーパー製品等 関連事業	キーパーLABO 運営事業	計		
売上高					
札幌営業所	608,896	—	608,896	—	608,896
仙台営業所	1,214,218	—	1,214,218	—	1,214,218
東京営業所	2,565,904	—	2,565,904	—	2,565,904
横浜営業所	1,051,817	—	1,051,817	—	1,051,817
名古屋営業所	2,979,061	—	2,979,061	—	2,979,061
大阪営業所	1,152,903	—	1,152,903	—	1,152,903
広島営業所	1,066,953	—	1,066,953	—	1,066,953
福岡営業所	1,292,222	—	1,292,222	—	1,292,222
東日本	—	7,027,926	7,027,926	—	7,027,926
西日本	—	7,000,076	7,000,076	—	7,000,076
顧客との契約から生 じる収益	11,931,978	14,028,003	25,959,981	—	25,959,981
外部顧客への売上高	11,931,978	14,028,003	25,959,981	—	25,959,981
セグメント間の内部 売上高又は振替高	656,054	—	656,054	△656,054	—
計	12,588,033	14,028,003	26,616,036	△656,054	25,959,981
セグメント利益	4,744,121	2,170,476	6,914,597	—	6,914,597
セグメント資産	4,700,421	12,388,751	17,089,172	16,432,188	33,521,361
その他の項目					
減価償却費	127,196	591,749	718,946	—	718,946
有形固定資産及び 無形固定資産の増加 額	135,350	3,961,985	4,097,335	78,485	4,175,820

(注1) セグメント間の内部売上高又は振替高は、キーパー製品等関連事業から、キーパーLABO運営事業部に対するものです。

(注2) セグメント資産の調整額は報告セグメントに帰属しない全社資産であります。

(注3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社管理部門における取得額であります。

(持分法損益等)

当社は非連結子会社としてKeePerロジスティクス株式会社、KeePerエージェンシー株式会社、SG KEEPER PTE. LTD及びAWS株式会社を有しておりますが、同社は利益基準及び利益剰余金基準に照らして重要性の乏しい非連結子会社であるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当事業年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり純資産額	661.10円	919.37円
1株当たり当期純利益金額	179.14円	360.20円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当事業年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	4,888,857	9,830,286
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	4,888,857	9,830,286
普通株式の期中平均株式数(株)	27,291,395	27,291,154

(重要な後発事象)

該当事項はありません。